

令和4年度第1回西予市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和4年10月25日(火) 午後3時30分から午後4時47分まで
西予市教育保健センター 4階 大ホール

2 出席した構成員

西予市長	管 家 一 夫
西予市教育委員会	
教育長	松 川 伸 二
教育委員	酒 井 郁 子
教育委員	梅 川 俊 一
教育委員	木 下 弘 規
教育委員	酒 井 史 朗

3 会議に出席した職員

(市長部局)

総務部長	山 住 哲 司
まちづくり推進課長	長 野 静 香
総務課長補佐	大 崎 伸 一

(教育委員会事務局)

教育部長	宇 都 宮 裕
教育総務課長	山 崎 徳 博
学校教育課長	青 木 志 郎
生涯学習課長	竹 内 克 之
スポーツ・文化課長	浅 井 裕 史
明浜教育課長	大 中 規 至
野村教育課長	佐 藤 茂 輝
城川教育課長	伊 井 健 一
三瓶教育課長	宇都宮 積 矢
教育総務課長補佐	土 居 靖 史
教育総務課主任	稲 口 智 博

4 傍聴者

1名

<p>山崎課長</p>	<p>議を開催いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃より当市教育行政の推進に関しまして、格別のご理解、ご支援いただいていること、衷心より厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、この総合教育会議は、市長と教育委員会が一堂に会して、本市の教育行政の諸課題を共有し、協議・調整する大変重要な会議と認識しております。</p> <p>本日の協議では、西予市の特別支援教育の推進及び今後の取組みについて、四国西予ジオミュージアムについて、公民館の地域づくり活動センターへの移行についての3つの事項について協議することとなっておりますが、いずれの事項におきましても、市と教育委員会が連携を密にし、一体的に取り組まなければならない重要な事項であります。この会議において協議させていただくことにより、緊密な連携がさらに図られ、スピード感を持った中で、的確に取り組んでいくことができればと思っております。</p> <p>どうか忌憚のない意見を交わさせていただきまして、西予市の教育行政がより良く、さらに進展が図られますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>協議事項に入ります前に配布しております資料について、説明をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(資料について説明)</p> <p>それでは、協議事項に移らせていただきます。</p>
<p>管家市長</p>	<p>ここからの進行は、西予市総合教育会議運営要綱第4条第1項により、管家市長をお願いいたします。</p> <p>本会議を主催する立場から進行を務めさせていただきます。本日は、1名の傍聴人がお見えになられております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>まず、協議事項(1)西予市の特別支援教育の推進及び今後の取組みについての協議をしたいと思います。教育委員の皆様からのご意見をお願いしたいと思います。</p>
<p>酒井郁委員</p>	<p>私からはこの協議事項について、2つ質問をさせていただければと思います。</p> <p>まず、西予市における特別支援教育の推進についてです。子どもの数は減少傾向にあるものの、特別な配慮を要する児</p>

管家市長

児童生徒の数は、ここ数年間、全国的に増加傾向にあると言われて
ています。

また、特別な教育的ニーズの多様化も進んでおり、早い時期から切れ目のない支援をしていくことの重要性が叫ばれて
います。

このような中、西予市においては、本年度、特別支援学級
への入級、通級指導教室の利用、学校生活支援員などの支援
を受けている児童生徒が、市内児童生徒数全体の約 6.5%と
なっています。市内全児童生徒数 2,282 名の内、148 名が該
当になっております。

今後も、その割合は徐々に増加し、支援ニーズがより高ま
ったり、児童生徒への支援内容が複雑化・多様化したりする
ことが、西予市においても切実な状況になっています。

そこで、まずは、西予市における特別支援教育の推進につ
いて、市長の考えをお聞かせいただきたいと思ひます。

特別支援教育は、障がいのある幼児や児童生徒の自立、社
会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立
ち、一人一人の教育ニーズを把握し、それぞれが持っている
力を高め、生活や学習上の困難を改善し、又は克服するため、
適切な指導及び必要な支援を行うものであると理解しており
ます。現在、支援を受けている児童生徒が、市内児童生徒数
全体の約 6.5%となっているとの発言がありましたが、支援
を受けている児童生徒の割合が年々増えているという現状も
把握しております。

西予市におきましても、西予市教育大綱の中で、『生きる
力』を育む学校教育の推進」として、一人一人の個性に着目
して指導・支援の充実に努めることを明記するとともに、教
育委員会の教育振興基本計画及び教育基本方針等において、
特別支援教育の推進についての主な取組み等を掲げられてお
ります。積極的に推進されていると承知しておりまして、改
めて感謝を申し上げる次第であります。

委員が述べられたとおり、今後も特別支援教育に関するニ
ーズの高まり、支援内容の複雑化・多様化が予想されると、
私自身もとらえておりますので、特別支援教育の推進につ
きまして、さらに充実に図っていかねばならないと考えて
いるところであります。

<p>酒井郁委員</p>	<p>市長の特別支援教育に対するご理解に感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>二つ目の質問として、専門的な立場から児童生徒、保護者、学校を支えていく体制の整備についてです。</p> <p>今年度、私は教育委員として、市内のいくつかの学校を訪問する機会があり、その中で、特別支援学級はもちろん通常学級でも一生懸命頑張る支援を必要とする児童生徒、そして、それぞれの個性を大切に、工夫しながら指導に励む先生方を拝見し、胸がいっぱいになり感動を覚えたところです。</p> <p>しかし、その一方で、先ほども触れましたが、今後さらなる特別支援教育に関する教育的ニーズの増加や、支援内容の複雑化・多様化といったことへの対応の必要性和、その支援現場への支援等を充実させることが急務であることを感じました。</p> <p>他市町では、支援現場への支援の方策として、教育委員会内や福祉部内に「発達支援室」や「支援センター」を設置し、専門のスタッフを置いて支援の充実の強化を図っているところがあると聞いています。</p> <p>そういった組織や機関の設置は、発達や教育に関わる相談に対して、支援の窓口を一本化した分かりやすい相談体制をとることができ、保護者・学校・福祉のより一層の連携が図られ、切れ目のない支援が受けられるようになる有益な方策であると思います。</p> <p>先ほど市長のご発言の中で、「さらに充実を図っていかなければならないと考えている。」とおっしゃいましたが、現段階で、具体的なお考え等がございましたら、構わない範囲でお聞かせいただいたらと思います。</p>
<p>管家市長</p>	<p>支援を必要とする児童生徒の増加、支援ニーズの複雑化・多様化に関しては報告を受けており、先ほどもそういうニーズが高いということも、お話しさせていただいたところがあります。今後は、支援のあり方について、新たな手立てを導入するなど、何らかの対策を講じる必要があるのではと考えています。</p> <p>まず、具体的にどのようなことが課題となっているのかということではありますが、1つ目の課題として、全国的に、特別支援学級を担任する教職員のうち、専門的に特別支援学校</p>

	<p>の免許状を有する教員は、全体の約 31%と言われており、本市におきましても、必ずしも特別支援学級を担当する教員が、専門的な知識を有する教員であるとは限らないということは承知しております。</p> <p>児童生徒一人一人の、教育的ニーズに応じた支援を充実させていくためには、特別支援教育担当者の資質・能力を向上させることが必要ではないかと考えています。</p> <p>2つ目は、児童生徒に対する、より適切な支援内容を判断する方法を向上させることも課題ではないかと考えます。</p> <p>児童生徒に対する支援内容の判断は、今現在は、年2回行われる教育相談、教育支援委員会によって検討し、保護者との合意形成を持って決定していると聞いております。先ほども申しましたとおり、支援を必要とする児童生徒の増加、支援ニーズの複雑化・多様化により、今後は、支援内容を決定していく流れや方法についての再検討を含めて、支援ニーズの把握方法について、今まで以上に専門的な見地に立った対応の必要があると考えています。</p> <p>その一つの方法として、より専門的な立場から児童生徒、保護者、学校を支えていく体制の整備に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>具体的には、教育委員会への専門的な職員の配置を行い、フォローを強化することで、特別支援教育の充実が図れるよう令和5年度において整備していきたいと考えております。</p>
酒井郁委員	<p>ありがとうございます。現在の特別支援教育への取組みに加え、より専門的なフォローを強化することで、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実が図られ、障がいのあるなしに関わらず、西予市内のすべての子どもたちの安全・安心、豊かな暮らしが保障されますよう、今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>管家市長 全構成員 管家市長</p>	<p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>それでは、協議事項「(2) 四国西予ジオミュージアムについて」に移りたいと思います。教育委員の皆様からのご意見をお願いしたいと思います。</p>
木下委員	<p>令和4年4月にジオパークの魅力が詰まった博物館「四国西予ジオミュージアム」がオープンし、10月に半年が経過し</p>

管家市長

ました。その間に市内外から多くの方が訪れているとお聞きしています。私も入館の機会をいただき、そして、高橋館長から博物館の説明を受け、熱い想いを感じました。大変ありがたく思うと同時に、西予市内の子どもたちに、ぜひ、四国西予ジオミュージアムを訪れてほしいと思いました。そして、自分の住んでいる場所、地域、町、西予市の素晴らしさを実感してほしい、そう強く感じました。

そこで、現在までの西予市内の小中学生の来館の様子や、学校教育活動の利用等について状況をお聞かせいただきたいと思います。

四国西予ジオミュージアムは、4月23日のオープンから9月末までに約24,000人の皆様にご来館いただいております。また、入館者のうち、約5,800人が有料スペースとして常設展示室をご観覧いただきました。

質問のありました、オープンから現在までの市内の小中学校からの見学状況を報告させていただきます。

市内の学校からの見学は小学校が5校、中学校が3校、PTAなどの利用が2校で、合計248人の方にご見学いただいております。まだまだすべての小中学校で見学いただくところまでにはなっておりませんが、今後も、市内の小中学生が見学に行くことが増えるのではないかと考えております。

常設展示室には、写真パネルや解説文で市内の様々なジオサイトの紹介を行っていますが、併せて、本物の化石や岩石、コウモリのはく製、植物レプリカなども展示していますので、自分たちの興味に合わせて、展示室内を熱心に巡ってくれる子どもたちが多く聞いています。

また、常設展示室以外にも企画展示室を設けており、それらのスペースを活用して、テーマを設けた企画展示を定期的に行っています。スタッフが案内した際にも、特に小学生からはその場でいろいろな質問を受け、「また来たい」という声も多くいただいているようです。

さらに8、9月には「ジオと昆虫」というテーマで、約2万点の昆虫標本を約3,300人の皆様に見ていただきました。

見学してくれた子どもたちの中には、普段見ることのできない本物の虫や蝶に驚き、小さな昆虫をルーペで観察したりする光景も見られたとの報告を受けているところでありま

<p>木下委員</p>	<p>す。</p> <p>四国西予ジオミュージアムの見学において、中学生以下は、常設展示室の観覧料が無料ということで、とてもありがたいと思っております。</p> <p>学校訪問の際に、訪問先の学校でふるさと学習の授業を行ってございました。学校でのふるさと学習の取組みの中で、ジオミュージアムの活用がさらに増えていくのではないかと考えております。多く子どもたちが訪れてくれることを期待しております。</p> <p>続きまして、四国西予ジオミュージアムにおける市内の小中学生や、学校教育活動の利用者を増やす計画について質問をさせていただければと思います。</p> <p>四国西予ジオミュージアムは、四国山地と宇和海が育んだ海・里・山4億年の自然と文化を収集・展示し、郷土愛を育み、また自然を大切にすることを学ぶ場とされています。四国西予ジオミュージアムの有意義な活用は、西予市教育基本方針の「郷土愛を育むふるさと教育の推進」の具現化を果たすのに大きな力となります。</p> <p>そこで、市内の小中学生や学校教育活動の利用者を増やし、郷土愛を育む活動、また、社会教育活動の場としての四国西予ジオミュージアムの活用について、具体的な事業や取り組み、イベント計画の予定等をお聞かせいただきたいと思っております。</p>
<p>管家市長</p>	<p>ジオパークは、地質・地形だけでなく、生態系や人々の営みまでが対象となっております。西予市の魅力を知り、持続的な地域社会を創っていくためには絶好の教材だと考えております。</p> <p>私は、子どもたちを含めた西予市に住む皆さんが、ジオパークといった視点を通じて、自分の地域をよく知っていただき、ふるさと西予市に誇りを持ち、好きになってもらうことはとても大切なことだと考えております。</p> <p>自分たちの住んでいる地域に誇りを感じてもらえる市民が増えることは、様々な地域づくり活動につながることはもちろん、一度西予市を離れても将来は西予市に帰るという選択をする人や、西予市に様々な形で貢献してもらえらる人材育成、ふるさととのつながりをずっと持っていていただくということ</p>

<p>木下委員</p> <p>管家市長</p> <p>梅川委員</p>	<p>に、つながっていくのではないかと考えております。</p> <p>そのきっかけとするためにも、四国西予ジオミュージアムを子どもたちから高齢者まで、幅広い世代にわたる市民の皆様にご利用していただきたいと考えております。</p> <p>西予市では当初から、ジオパーク活動の重要な柱のひとつに「ジオパーク学習」を位置付け、学校が取り組みやすい環境をつくるために市長部局と教育委員会部局が連携して、具現化に努めてまいりました。</p> <p>昨年度には、今までジオパーク活動として実施してきた「出前授業」や「現地学習」をモデルコース化した、「四国西予ジオパーク 学びのガイドブック」を作成しました。</p> <p>ただ、四国西予ジオミュージアムはオープンしてまだ半年の施設でございます。今後、展示や解説などの実践を積み上げながら、高い学習効果が引き出せる仕組みづくりや、先ほどご説明しました「学びのガイドブック」に、「現地学習」と「ジオミュージアム見学」を組み合わせたモデルコースなどを追加してまいります。</p> <p>自分の地域をよく知り、好きになっていただくことや、自分たちが住んでいる地域に誇りを感じていただくという市長の思いを強く感じました。ありがとうございました。</p> <p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。</p> <p>私からは、四国西予ジオミュージアムを活用する中で地域活性化に、どのようにつなげていくかについて質問させていただきたいと思っております。</p> <p>四国西予ジオミュージアムのホームページを拝見したところ、「四国西予ジオパークは平成 25 年 9 月に日本ジオパークに認定され、四国山地と宇和海が育んだ海・里・山 4 億年の自然と文化を収集・展示し、郷土愛を育み、また自然を大切に考える考えを学ぶ場所として、そして西予市内外の方々が回遊したくなるような観光・交流の拠点が、この四国西予ジオミュージアムです。」と記載されております。</p> <p>以前からの西予市を PR する際の言葉として、海拔 0 メートルから 1,400 メートルのまちという言葉がありました。そういった様々な自然環境の中に、ジオパークがあるということでジオミュージアムを活用し、今後さらに PR をしていく必要があるのではないかと考えております。</p>
-------------------------------------	---

<p>管家市長</p>	<p>今後、観光や交流の拠点としてのジオミュージアムを活用して、地域活性化にどうつなげるかお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>市内海岸部の海拔0メートルから大野ヶ原の1,400メートルまでの間の市内各地域において、生活をする人がいるというまちは、日本の中でも珍しいと思います。海拔0メートルから1,400メートルという言葉は、三好前市長の政策の中において打ち出された言葉であります。ジオパークを知っていただく上でも良いキャッチフレーズであり、今後も様々な場面で活用していきたいと思っております。</p> <p>ジオミュージアムは子どもたちや市民に対して多面的な教育活動を行うだけでなく、西予市全域に広がるジオパークの魅力を広く発信する拠点施設として、地域交流の形成と来訪者の市内周遊を通じた観光振興に寄与することも目的としております。</p> <p>また、西予市観光物産協会と連携し四国西予ジオパークを核とした観光と物産の振興施策に取り組み、市内経済への波及効果を上昇させることを目的とした取り組みを行ってまいりたいと思っております。</p> <p>今年度の観光事業としまして、バス・タクシー事業者支援事業を実施しております。これは、市内で観光バスや貸切タクシーによる旅行事業を行った市内の業者に対して助成を行うものであります。また、ジオミュージアムやジオサイトを訪れた場合は、助成金をバスで1万円、タクシーで5千円を加算し、市内観光周遊を促進しております。</p> <p>10月11日から全国旅行支援が始まっていますが、西予市においても11月からジオツアーによる割引ツアーの実施を、来年2月まで行う予定です。その際、ジオミュージアム観覧券を旅行商品にセットする等、滞在型の旅行造成を行うとともにジオパークの魅力発信に努めてまいります。</p> <p>また、ジオミュージアムに設置を予定しているEバイクを活用したツーリングやイベントを企画することで、利用者が実際に体を動かしながら近隣のジオサイトを巡ることが可能になると考えており、西予市観光物産協会を中心に企画の計画を進めているところであります。</p> <p>次に物産関係ですが、ジオパークと地域商品の魅力をセッ</p>
-------------	---

松川教育長

トにしたブランド「ジオの至宝」が現在 11 品目あります。これは、西予市の大地の特徴を生かした市場性の高い逸品を認定したのですが、ジオミュージアム内でも積極的にPRすることで販売促進につなげていきたいと考えております。

ジオミュージアムの周辺には、ギャラリーしろかわや、龍澤寺での精進料理、宝泉坊温泉、穴神鍾乳洞などがあります。また、城川町地域からであれば、大野ヶ原に約 1 時間で行くことができ、土居家、シルク博物館での体験型の観光など野村・城川地域をつなげて 1 泊してもらい、その後、明浜町地域での段々畑や宇和町地域の笠置峠古墳、三瓶町地域の須崎海岸などを巡っていただくなど、ジオミュージアムと点在するジオサイトや観光施設を線で結びつけて 1 泊 2 日をしていただくようなものを作り、ジオミュージアムに来ていただき、そこから広がるような観光を西予市観光物産協会と取り組んでいきたいと思っています。

今後も、四国西予ジオパークの認知度やイメージの向上を図ってきたいと思っています。

その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。

教育委員会でのジオパークに関する一つの事例を紹介させていただきたいと思います。

教育委員会において平成 29 年度から実施している「小学生夢チャレンジサポート事業」という取り組みがございます。当事業は、市内小学校 6 年生の子どもたちが考えた夢に子どもたち自身で取り組んでいき、それを実現していくという事業であります。今年度は、2 校の小学校の事業を選定しました。どちらもジオパークをテーマにした夢の提案でありました。このことは、ジオミュージアムが開館したことが少なからず影響しているのではと感じております。

城川小学校と中川小学校から当事業の申請がありました。城川小学校においては、これまでの学年においてジオパークに関することを大変よく勉強しており、もっと詳しくジオパークのことを学び、その成果としてジオミュージアムに自分たちの展示コーナーを設置したいという内容であります。

一方で中川小学校では、宇和町地域の小学校ということもありますので、これまでにジオパークのことの勉強があまり

<p>管家市長</p>	<p>できていなかったため、ジオミュージアムへの見学やジオサイトのことなどを勉強し、宇和町地域以外の西予市のことをもっと知っていきたいという内容であります。</p> <p>また、この2校が、ジオミュージアムを中心としたジオパーク学習ということで学校間の交流も取り組むようになっております。</p> <p>教育委員会では、西予市教育振興基本計画において、取り組むべき施策の一つとして「郷土愛を育むふるさと教育の推進」を掲げ、ふるさと教育に力を入れております。ふるさと教育のすばらしい教材としての四国西予ジオミュージアムや、平成30年7月豪雨災害の伝承展示室など、市内には子どもたちに向け、ふるさと教育を行うことができる施設が多くございます。</p> <p>教育委員会としましても、そのような施設を今後ますます活用していき、仮に将来、子どもたちが都会に行ってしまうと、ふるさと西予市がこういう素晴らしいところであると自慢できる、また、都会に行ってしまうと西予市のことを思い、いずれ西予市に帰ってくるというような教育に、今後さらに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。</p> <p>子どもたちが、夢チャレンジサポート事業に手を挙げていただいて、ジオパークに関連したことを学び、展示コーナーを設けたいということは、夢があつて本当に良いことだと思います。そのようなつながりが市内の小学校で広がっていくといいと思います。</p> <p>かまぼこ板の絵においても、小学校で出展の常連があり、皆田小学校などは、継続して出展していただいておりますし、様々な学校・保育所などといった団体においても出展していただいております。</p> <p>ジオにおいても、そのような広がりが継続していけるようになればいいと思います。今後とも推進よろしく願いいたします。</p> <p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>それでは、協議事項「(3) 公民館の地域づくり活動センターへの移行について」に移りたいと思います。教育委員の皆様</p>
<p>全構成員 管家市長</p>	<p>それでは、協議事項「(3) 公民館の地域づくり活動センターへの移行について」に移りたいと思います。教育委員の皆様</p>

<p>酒井史委員</p>	<p>様からのご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>私からは、地域づくり活動センター設置に伴う社会教育の推進と公民館活動のあり方について質問させていただきたいと思います。</p> <p>令和5年4月に実施される機構改革に合わせて、社会教育に関する二つの課が、教育委員会部局と市長部局へ再編されると伺っています。二つの部局に分かれることにより、西予市の社会教育推進に支障を来たさないようご配慮をお願いいたします。</p> <p>社会教育の中でも特に西予市の公民館活動は、県内でも先進的な活動として高く評価されております。そのような公民館は、学校教育においても、子どもたちの自然体験活動や歴史・文化に関する学習の機会提供はもちろん、学校と地域をつなぎ、「地域とともにある学校」の実現のためにはならない施設であります。コミュニティ・スクールの学校運営協議会の委員に公民館長や公民館主事が入っていただいているのもそのためです。</p> <p>来年4月からは、公民館に代わり、地域づくり活動センターが設置されます。地域づくりという言葉が前面に出ることにより、センターの活動が「地域づくり」といった行政課題に関するものに偏ったりはしないかと心配しております。地域における社会教育推進の拠点として、また、学校も含めた住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」活動の拠点として、センターにもこれまでどおり公民館の重要な機能を維持していただきたいと願っているところです。</p> <p>そこで、4月からのセンターの主な業務内容のうち社会教育推進に関することについて改めてお聞かせいただきたいと思います。</p>
<p>管家市長</p>	<p>ご意見にもありました、これまで社会教育の推進のために「つどう」「まなぶ」「むすぶ」活動の拠点として、公民館が担ってきた機能については、地域づくり活動センター（以下、活動センター）移行後も、もちろん維持していきたいと思っております。</p> <p>活動センター移行後の社会教育・生涯学習の推進につきましては、市政懇談会など、活動センター化について市民の皆様にご説明する段階からご心配の声をいただいております。</p>

た。

そのようなご意見を受けて、西予市地域づくり活動センター推進計画では、「条例に活動センターが生涯学習を推進することを明記すること」、「社会教育主事などを担当部署へ配置すること」、「社会教育の推進について、この総合教育会議において協議・調整を行うこと」などのほか、「社会教育の推進方針などは教育委員会で策定し、社会教育委員会が作成した社会教育計画に基づいて、市長部局においても事業を推進していくこと」を明記させていただいております。

加えて、「学校とのつながり」について、同推進計画の中で、「センターが学校と地域をつなぐ役割を担い、地域と連携・協働しながら地域全体で子供たちを支える」としています。今後、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールをさらに進めていく中でも、教育委員会と各活動センター、学校、地域が連携を深めながら進めていくこととなります。

同推進計画は、市民検討委員会による答申を踏まえてでき上がったものです。市ではこのことを重く受け止め、計画に沿い実行していかねばなりません。活動センター移行後もこの計画に基づき、市長部局と教育委員会部局が連携、協力し合いながら、市内の社会教育・生涯学習の推進に支障のないよう、行ってまいりたいと思っております。

新年度からの社会教育の推進にあたり、教育委員会では、今年度の準備として、令和5年度当初から活動センターにおいてしっかりとした取組みを行うために、例年、年度が変わってから策定しております当年度の社会教育計画については、移行前、令和4年度中に策定しておきまして、活動センター移行と同時にスムーズに社会教育が展開できるよう準備を進めていただいております。

市長部局である活動センターで社会教育を推進するにあたって、まずは、社会教育の方針や社会教育計画の内容を活動センター職員に対して改めて確認、徹底し、確実に実施していくよう進めることは当然であります。

そこで重要になりますのが、先ほどご説明いたしました社会教育主事等の配置でございます。教育委員会においては、現在配置しております社会教育主事を引き続き、まなび推進課へ配置して、本市の社会教育全体の取組みを管理・監督い

	<p>たします。さらに、活動センターを所管し事業を実施するまちづくり推進課へ、教育委員会からの任命により社会教育主事を配置し、社会教育計画の実効性を高めていく計画としております。</p> <p>また、現場では、高齢者の生きがいつくり、健康寿命を延ばす対策など福祉面の教育や、災害に対応するための防災教育など、高齢化、人口減少が進んだ地域での生活には様々な知識が必要となっています。このようなことから、現在の公民館連絡協議会のような、活動センターをまとめた組織を立ち上げ、また、県の公民館連合会にも引き続き加盟をさせていただきながら、情報共有や研修を深め、社会教育を担う職員の資質向上を図っていきたいと考えております。</p> <p>いずれにしましても、活動センターでは、生涯学習・社会教育と地域づくりについて、住民の声をよく聴きながらバランスよく自然な形で取り組み、地域に浸透させていきたいと考えております。公民館が地域づくり活動センターへと名称が変わっても、地域におけるあらゆる活動の拠点として、様々な人が集い、話し合い、活動の場として活用いただけるよう努めていきたいと考えております。</p>
酒井史委員	<p>ありがとうございます。来年4月からも地域づくり活動センターの下、西予市の社会教育が一層推進されるということがよく分かりました。安心しました。どうかよろしく願いいたします。</p>
管家市長	<p>また、お気づきの点がございましたら、ご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>各地域づくり活動センターで取り組んでいく事業については、基本的に各地域にとって必要な事業や有益な事業は、移行後も継続あるいは、ブラッシュアップして実施してまいりたいと考えております。現在の公民館での各種講座や教育的な取り組みなどは、地域づくりを踏まえた広い視野で検討し展開してまいりたいと考えているところであります。</p>
全構成員 管家市長	<p>その他、この件についてご意見ありませんでしょうか。 (特になし)</p> <p>それでは、協議事項「(4) その他」に移りたいと思えます。教育委員の皆様からのご意見がありましたらお願いいたします。</p>

木下委員	<p>ジオパークの環境整備や現況、今後の計画に関しまして、三瓶町地域の須崎海岸遊歩道の整備について質問させていただきたいと思います。</p> <p>明浜・三瓶の海岸部のジオサイトにおいても、多くの方に訪れていただきたいと思っております。三瓶町地域の須崎海岸は、屋形船、海上タクシーからの見学も魅力的ですが、やはり海辺に下りて、縦じまの地層を間近に見ることは迫力があります。子どもたちが直接見て触れることで新しい発見があるかもしれません。教育的観点から非常に重要な場所だと感じています。</p> <p>しかし、現在、崩落による通行禁止が続いており、海辺に下りることができない状態です。</p> <p>須崎海岸の遊歩道の復旧について、現在の状況を教えてくださいたいと思います。</p>
管家市長	<p>須崎海岸の土砂崩れはかなり上部から発生しており、令和3年度にドローン等での斜面崩落箇所の調査や遊歩道の堆積物の状況などの経過観察を実施しました。令和5年度にかけて斜面崩落の進行状況調査を予定しておりますが、遊歩道の上部は令和2年7月に崩落した箇所以外にも似たような斜面が続いております。また、須崎海岸の場所は、県立自然公園となっており、構造物をつくるということが難しい場所でもあります。</p> <p>本市としましては、安全性が確認できるまで、遊歩道に立ち入ることの許可は難しいと考えておりますので、今しばらくお待ちいただきたいと思います。</p> <p>その他、ご意見ありませんでしょうか。</p>
梅川委員	<p>市内学校施設の保全や改修計画について質問させていただきたいと思います。</p> <p>市内の小中学校施設については、建築後40年を経過した施設が多数あり、大規模な老朽化対策が必要となってきた校舎や屋内運動場も多いようです。そこで児童生徒の安全・安心を確保するよう施設の保全や維持・教育環境の充実を図るため、しっかりとした予算の増額配分をお願いしたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。</p>
管家市長	<p>ご意見のとおり、市内学校施設のうち約4割の建物が経過年数40年を超えており老朽化が進んでおります。そこで児</p>

<p>松川教育長</p>	<p>児童生徒の安全・安心な学びの場の確保のため、本年度から専門家による点検調査に取り組んでおり、その結果に応じた適切な対応を図っていきたいと考えています。</p> <p>また、西予市公共施設個別施設計画に基づき、建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的要請に応じた施設の長寿命化を図るほか、詳細な調査の結果によって構造上危険な状態であると判断される建物については、建替えを検討させていただきたいと思っております。一番古い学校施設として、宇和中学校の約 60 年近い校舎があるという現実もございます。</p> <p>さらに、国においては「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の一部改正がなされ、障がいのある児童生徒が支障なく安心して学校生活を送ることができ、災害時には避難所など地域の防災拠点としての役割を果たすことから、令和 7 年度末までに緊急的かつ集中的に整備を行うための整備目標を掲げています。</p> <p>そこで、市としても全学校施設のバリアフリー化を本年度から取り組んでいるところであり、令和 4 年度は中川小学校及び皆田小学校の改修工事設計業務を委託し進めております。</p> <p>今後の予算措置につきましても、適切な維持保全や多様な学習内容や形態に対応した環境整備を図るため、配慮していききたいと思っております。</p> <p>そういった中で、宇和町地域の小学校においては、現在、再編計画書（案）の地域住民説明会を教育委員会で行っていただいておりますが、その中で市民のご意見・お考えをお聞きしながら再編計画書として取りまとめていきたいと考えています。その後、再編計画書を基に、ICT等の新しい教育に対応した環境整備や西予市産材を積極的に活用した施設の木造・木質化を図るなど、望ましい教育環境に配慮した具体的な施設整備計画を検討していきたいと考えております。</p> <p>その他、ご意見ありませんでしょうか。</p> <p>学校施設関係についてですが、市長にも触れていただきました再編計画書（案）の説明会を 10 月 11 日から開始し、7 会場で実施することとしておりますが、現在 4 会場で説明会</p>
--------------	---

<p>管家市長</p>	<p>が終了したところであります。</p> <p>説明会でのご意見の中で、今現在、西予市においても種々の人口減少対策・少子高齢化対策が行われているが、子育て世代への対策をもっと充実してほしいという意見がありました。経済的な対策の他に、西予市における子どもたちの教育環境を充実させることが、定住・移住といった新たな生活根拠地として選択してもらえる大きな理由の一つになるのではないかということや、卒業しても、私はこのような素晴らしい教育環境の学校で勉強することができたといった、誇りに思うことができるような教育環境を整備していただきたいという内容の意見もありました。</p> <p>西予市における人口減少対策は、喫緊の大きな課題の一つであると認識しております。愛媛県が本年9月に公表した2060年の予測人口において、西予市の人口が約12,000人となっており、西予市人口ビジョンによる人口推計よりも約4,000人下回る予測となっております。</p> <p>学校運営などのソフト面においては、教育委員会が全面的に取り組まなければならないことは当然であります。ハード面におきまして、予算が伴うものでありますので、教育委員会だけでは、限界がございます。再編計画書は、今年度中に策定することとしておりますので、再編計画書を踏まえた上で、ハード面における予算の将来的な見通しを立てていただきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。ご意見としてありました、子どもたちに誇れる教育環境は、重要なことの一つであると思っておりますので、再編計画書が策定された後、それを基に具体化する過程において、様々な層の皆様のご意見をお聞きしながら進めていきたいと思っております。</p> <p>また、各学校に通っている子どもたちが、どのようなことに興味があり、誇りを感じられるかといった調査等もお願いしたいと思います。</p> <p>今、特に少子化ということが大きな問題になっております。西予市としましても人口減少対策につきましては、積極的に政策を打っていかねばならないと考えております。</p> <p>今現在の状況として、20歳から24歳の年齢層の人は、西予市から市外へ出ていく人が多いですが、25歳から34歳ま</p>
-------------	--

<p>全構成員 管家市長 事務局 管家市長</p> <p>山崎課長</p>	<p>での年齢層の人においては、西予市に入ってくる人が結構多いというデータがあります。その理由としては、西予市の周辺市町への利便性や、土地価格の安さといったことがあるのではないかと思います。昼間の人口は少ないけれども、夜間の人口はある程度いるというような状況も、数字として把握しております。</p> <p>また、愛媛県においても本格的に少子化対策の取組みをされておりますし、そのためのデータ収集もなされております。西予市においては、2000年と2020年を比較して、婚姻数が大きく減っております。県内の松前町などでは、婚姻数は減ってはいるが西予市ほどは減っていないというデータも出ております。</p> <p>これらの課題は、待ったなしの状況であります。これからも積極的に少子化対策を進めてまいりますので、教育委員の皆様におかれましても、今後も少子化対策に対するご意見がございましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>その他、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>(特になし)</p> <p>事務局から何かありませんでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>それでは、これで協議の場を閉じたいと思います。協議にあたりまして、様々なご意見を頂戴したこと、感謝申し上げます。皆様のご意見を今後の教育行政の中に生かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度第1回西予市総合教育会議を閉会します。</p> <p>本日は、貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>(午後4時47分閉会)</p>
--	--